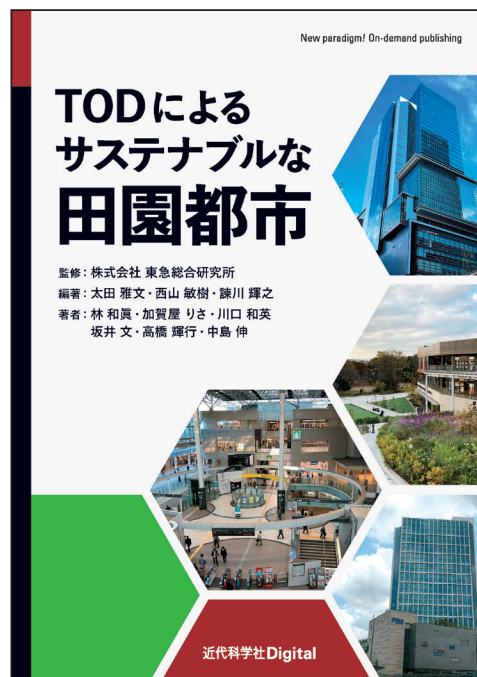


公共交通に根差したサステナブルなまちづくりが
次世代の明るい未来を拓く！

TOD による サステナブルな 田園都市

監修：株式会社 東急総合研究所
 編著：太田 雅文・西山 敏樹・諫川 輝之
 著：林 和真・加賀屋 りさ・川口 和英・坂井 文・
 高橋 輝行・中島 伸
 仕様：A5 判・並製・印刷版モノクロ / 電子版一部カラー・
 本文 250 頁
 印刷版・電子版価格：3,000 円（税抜）
 ISBN (POD)：978-4-7649-6079-4 C3052
 ISBN (カバー付単行本)：978-4-7649-0686-0
 C3052
 発行：近代科学社 Digital
 発売：近代科学社



全国の書店・ネット書店にてお求めいただけます。お取り扱い店は以下のウェブページをご覧ください。

https://www.kindaikagaku.co.jp/book_list/detail/9784764960794/



内容紹介

本書のキーワードはTOD、サステナブル、田園都市です。TODはTransit-Oriented Developmentの略で、鉄道をはじめとした公共交通に根差した都市開発やまちづくりを意味します。1990年代、米国の都市計画家ピーター・カルソープにより提唱された理念で、より健全で持続可能なコミュニティへと導く上で不可欠とされ、今、世界中で注目されている考え方です。本書では、TODによる田園都市開発の先駆者たる東急のまちづくりの経緯と特徴を振り返り、合わせてポストコロナの時代の変化や、昨今高まりつつある「サステナブル」意識を踏まえ、今後のビジョン・可能性について展望します。

お問い合わせ先

株式会社近代科学社
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105
 神保町三井ビルディング
 電子メール：contact@kindaikagaku.co.jp

近代科学社 Digital

<https://www.kindaikagaku.co.jp/kdd/>

近代科学社 Digital は、株式会社近代科学社が推進する21世紀型の理工系出版レーベルです。デジタルパワーを積極活用することで、オンデマンド型のスピーディで持続可能な出版モデルを提案します。

目次

第1章 TOD・田園都市の歴史

- 1.1 Garden City から田園都市へ
- 1.2 多摩田園都市のまちづくり
- 1.3 鉄道による沿線型 TOD の実践
- 1.4 ターミナル・拠点型まちづくり：渋谷の台頭

第2章 「サステナブル」とポストコロナの都市構造

- 2.1 郊外型「拠点」の成長と連坦
- 2.2 ポストコロナの生活スタイル・都市構造
- 2.3 「サステナブル」なまちづくりとは

- 2.4 サステナブル田園都市 TOD モデルの発展
- 2.5 【研究報告】地方創生に向けた関係人口づくりと TOD 事業者の役割

第3章 公共交通オリエンティッドな持続可能な都市空間

- 3.1 都市空間のデザイン
- 3.2 都市空間のマネジメント
- 3.3 都市空間の発展戦略
- 3.4 都市空間を支える交通基盤（総括）

監修者・編著者紹介

監修者

株式会社東急総合研究所

東急グループの戦略研究所として1986年に設立。東急株式会社およびグループ各社の経営戦略・事業戦略の策定や事業活動の支援を行うとともに、経済、産業、地域、消費構造、消費者意識や行動など、経営環境の変化をとらえた基礎的研究、東急線沿線を主体とした各種情報の収集と分析、グループの幅広い事業活動をカバーする調査研究を実施。このほかグループの経営層を対象とした講演会、一般社員を対象としたセミナー、若手社員を対象とした勉強会を実施し、人的ネットワークの構築にも取り組む。

編著者

太田雅文（おおたまさふみ）

株式会社東急総合研究所フェロー・主席研究員 Ph.D

1959年東京生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業、同大学院工学系研究会土木工学専門修士課程修了、ロンドン大学ユニバーシティカレッジ大学院都市計画（The Bartlett School of Planning）にて Ph.D 取得。東京急行電鉄株式会社鉄道事業本部事業統括部長、開発事業部副事業部長、株式会社東急ステーションリテール取締役副社長、株式会社東急設計コンサルタント取締役専務執行役員都市・土木本部長など、鉄道、都市開発、リテール等 TOD・まちづくり関連部門を歴任、2020年4月より現職。著書（共著）『成熟都市のクリエイティブなまちづくり』（宣伝会議、2007）、『鉄道が創りあげた世界都市・東京』（一般財団法人計量計画研究所、2014）、東京都市大学都市生活学部非常勤講師。執筆担当：はじめに、第1章、第2章 2.1～2.4、おわりに

西山敏樹（にしやまとしき）

東京都市大学都市生活学部・大学院環境情報学研究科准教授博士（政策・メディア）

1976年東京生まれ。慶應義塾大学総合政策学部社会経営コース卒業、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程および後期博士課程修了。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別研究専任講師、慶應義塾大学教養研究センター特任准教授、慶應義塾大学医学部特任准教授、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任准教授などを経て現職。一般社団法人日本イノベーション融合学会理事長、一般社団法人日本テレワーク学会理事、特定非営利活動法人ヒューマンインタフェース学会評議員など、学会の役職も多数務める。専門領域は、ユニバーサルデザイン、モビリティデザイン、未来都市論、社会調査法など。交通用車輛の開発に関する大型プロジェクトを多数経験。ユニバーサルデザインに関わる地域開発も多数手がけており、研究や実務の成果の表彰も20件にのぼる。研究領域に関わる著書も30冊にのぼる。執筆担当：第3章 3.4.1

諫川輝之（いさがわてるゆき）

東京都市大学都市生活学部・大学院環境情報学研究科准教授博士（工学）

1985年生まれ。筑波大学社会工学類都市計画主専攻卒業、東京工業大学大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻修士課程および博士後期課程修了。東京工業大学産学官連携研究員、LLP 人間環境デザイン研究所研究員、日本学術振興会特別研究員（東京大学）を経て、2017年東京都市大学都市生活学部講師、2022年より現職。専門は都市防災・地域防災、環境心理行動学、都市・建築計画。生活者の視点に立って災害に強いまちづくりを進めるため、災害時の避難行動やリスク認知、各種施設における防災対応などに関する研究を行っている。人間・環境学会大会発表賞、日本建築学会奨励賞など受賞。共著に『ニューノーマル時代の新しい住まい』、『都市・建築デザインのための人間環境学』など。執筆担当：第3章 3.2.2